

目次

イントロダクション

- 1 理念体系
- 3 目指す姿への道筋
- 4 価値創造のあゆみ

価値創造ストーリー

- 7 社長メッセージ
- 11 価値創造プロセス
- 12 事業環境認識
- 14 マテリアリティ
- 17 資本と強み
- 19 ビジネスモデル
- 20 ステークホルダーへの提供価値
- 21 特集：
女性医療の重要性とあすかのポテンシャル

戦略解説

- 28 投資家の皆さまから寄せられる質問
- 29 専務取締役メッセージ
- 33 中期経営計画2025の振り返り
- 35 会長メッセージ
- 36 中期経営計画2028概要
- 38 事業概況
 - 38 国内医療用医薬品
 - 41 創薬
 - 43 グローバル
 - 45 アニマルヘルス
 - 47 検査・アラウンドピル
- 49 財務資本戦略
- 53 製造資本・知的資本戦略
- 57 自然資本戦略
- 61 社会関係資本戦略
- 65 人的資本戦略
- 71 従業員座談会

価値創造の基盤

- 78 リーダーシップ
- 80 コーポレート・ガバナンス
- 87 役員×社外取締役座談会
- 91 コンプライアンス
- 92 リスクマネジメント

コーポレートデータ

- 94 10カ年サマリー
- 95 イニシアティブ／
社外からの評価／第三者意見
- 96 会社情報／株式情報

●編集方針

あすか製薬ホールディングスは、経営戦略や重要課題への取り組み、ESG情報および財務情報を統合的にお伝えするため、「ASKA HD REPORT」を発行しています。

「ASKA HD REPORT 2026」では、長期ビジョン「ASKA VISION 2035」と「中期経営計画2028」のもと、当社グループの強みや成長戦略、企業価値向上に向けた取り組みをご紹介します。

本レポートを通じて、当社グループへの理解を深めていただくとともに、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話につなげてまいります。

●参考にしたガイドライン・フレームワーク

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・IFRSサステナビリティ開示基準（IFRS S1、IFRS S2）
- ・SASBスタンダード
- ・サステナビリティ基準委員会（SSBJ）基準
- ・GRIスタンダード
- ・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言
- ・TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）提言
- ・ISO26000「社会的責任に関する手引」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的开示・対話ガイダンス」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」など



●報告対象

- ・期間：2025年4月1日～2026年3月31日（一部、対象期間外の情報も含みます）
 - ・範囲：あすか製薬ホールディングス株式会社およびグループ各社
- ※1 原則としてあすか製薬ホールディングスグループを対象としています。活動やデータの範囲が「あすか製薬株式会社（単体）」の場合は「あすか製薬」と記載しています
- ※2 組織体制、役員構成および一部の取り組みについては、対象期間後の最新情報を掲載しています。

●本レポートにおける注意事項

本レポートに記載されている将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績などはさまざまな要因により異なる場合があります。

●情報開示体系



統合報告書2026のポイント

ポイント① 「ASKA VISION 2035」の実現に向けた新たな成長ステージへ

2026年度よりスタートした「中期経営計画2028」のもと、国内医療用医薬品事業、創薬事業、グローバル事業、アニマルヘルス事業、検査・アラウンドピル事業への成長投資を加速します。収益基盤の強化を踏まえ、次の成長ステージを実現するための戦略を紹介しています。

ポイント② ROIC経営を軸に資本効率と価値創造を追求

「資本コストや株価を意識した経営」をさらに進化させ、ROIC経営を導入します。事業戦略・財務戦略・人的資本戦略・サステナビリティを一体で推進し、中長期的な企業価値向上を目指す取り組みを特集しています。